

令和7年度第1回避難訓練を実施しました。

仙台市太白障害者福祉センター

令和7年8月22日（金）に仙台市太白障害者福祉センターにおいて避難訓練を実施しました。

今回は、地震後2階厨房から出火したことを想定した訓練を行い、防災設備業者立会いのもと避難訓練を実施しました。業者から防災設備についての説明を受け、119番模擬通報訓練を行った後、避難訓練を行いました。

訓練には利用者及び職員合わせて32名が参加し、職員の誘導のもと、速やかにセンター隣の公園へ避難しました。2階の車いす利用者を想定し、3人の職員による階段介助での避難動作も実際に行いました。出火確認から避難完了まで5分59秒でした。防災設備業者の方からは、スムーズな避難動作が出来ていたとの講評を受けております。その後、水消火器を使用した消火訓練を行い、自立訓練の利用者の方も参加し、消火器の操作方法を確認する機会となりました。

また、同日、職員を対象として洪水時における福祉避難所の開設訓練を実施しました。洪水時における避難訓練では、2階の2部屋を避難所と想定し、1階倉庫から物品移動、福祉避難所の開設訓練、実際の受付のシミュレーションを行いました。

定期的に訓練し、いざという時にスムーズに行動できるようにすることが重要となります。今回の訓練を今後の防災にいかしていきたいと思います。

